



こんにちは 日本共産党府議会議員 さこ祐仁 議会報告

2012年7月29日 NO147号

連絡場所

日本共産党上京生活相談所

813-2117

払える国保料金に！

上京区役所国保課と懇談

「保険料と命どっちが大事なのか！」
「国保財政の運営さえうまくいったら、人の命はどうなってもいいと聞こえる」
「京都市国保は三年間黒字じゃないか。払える保険料にすべきだ」・・・上京区役所で怒りの声が響きました。

それに対し「私らの仕事は国保の健全な運営を確保すること」と繰り返す国保課長。

こんなビックリするやりとりが、七月十一日、上京区社会保険推進協議会、上京区民商、生活健康守る会の共同で、上京区国保課と「国保行政の改善を」求めて懇談が行われ私も参加する中で行なわれま

した。
京都市の国保料は4人家族、年間所得百万円で暮らす世帯で保険料は十九万円を超える異常な高さです。国保課長は市国保加入世帯の四軒に一軒が保険料が滞納と認めながら、払いきれない実態には目をそむけ、「市民の公平」のためには保険証取り上げや差し押さえも仕方がないと発言を繰り返します。

「納付相談の際に、区国保課と相談し、『分割納付誓約書』の納付計画に基づく金額も『勝手に金額決めて払っている』と応対した徴収係長に言われ、ホンマに腹が立ちました」と参加者の怒りの発言。「勝手にきめて」の発言は正しいのかと質問が続きましたが、課長は、正しいとも間違っているとも言えずに、挙句に、「前後の文脈があるのでなんなんともいえない」と言い逃れに終始しました。

やむなく保険料滞納におちいった市民が、支払える額での分納を認めてもらえず、窓口職員のいう、「期日までに分割で払え」といわれた金額を支払おうとしたがなんと二回は払えたものの、最後の税金が工面できずに、保険課に国保更新手続きに行くこともできず、保険証の期限が切れたという例が出されました。

国保証、短期証の更新を、「区が求める分納金額でないから国保証を更新するのは違法ではないか」との質問に、課長は「そうは思わない。法的根拠は調べておく」と回答する始末。

法的根拠も示せず、保険料取立てを行う国保課の実態が明らかになり参加者の怒りを買っていました。

このような京都市の実態を変えるためにも、国保に対する国の半分負担を元に戻すことが必要です。そのためには国政を変えるために、来るべき総選挙で日本共産党の勝利が求められます。



日本共産党90周年・北地区区党55周年・総選挙勝利のつどいが7月15日開催されました。集会成功のため、お手伝いさなたみな様ご苦労でした。

「消費税増税法案」は参院で廃案に！
所得は急減しています。
一番やってはならないことは消費税の増税です。



国民生活基礎調査によれば、2010年の1世帯当たり平均所得は前年比11万6千円の減。消費税が5%に増税された1997年比で119万円7千円もの減少です。その上、消費税が10%になれば、子育て世代4人家族で年30万円、高齢者夫婦世帯で18万円も負担が増えます。

中小業者への影響も深刻です。中小企業団体の調査では、売上高5千万円以下の事業者の7割が身銭を切って納税するか廃業に追い込まれると回答しています。

日本共産党は消費税に頼らない別の道を提言しています。軍事費や政党助成金など、聖域をつくらずムダを一掃し、①富裕層・大企業優遇税制を正し、能力に応じて負担する税制への大改革。②国民の所得を増やし経済を立て直す改革を同時並行ですすめ、社会保障の充実、財政危機打開をはかることです。

地域要求実現！ 成逸で



側溝の蓋が壊れ、子どもたちが乗ったらけがをするというところで、京都市下水道局で対応してもらいました。



巧みの技！ 今宮神社にて

